

『松竹創業者』の「大谷竹次郎」について

大谷竹次郎は、双生児の兄・白井松次郎とともに「松竹」を創業した。

生まれは、京都三条柳馬場（現：京都市中京区）。双生児の兄・松次郎は白井家に養子となり白井家を継ぐ。

父：栄吉は相撲の興行師で、妻に水場（売店）の経営をさせていた。

劇場の売店経営から劇場経営へ進出。

明治28年（1895）に京都阪井座を買収し、その興行主となる。

明治36年（1902）、京都新京極通に明治座（後の京都松竹座）を開設。

明治38年（1905）、兄・白井松次郎とともに大阪市南区に「松竹合名会社」を設立。
後に東京新富座を買収し東京進出する。そして、竹次郎が関東、兄・松次郎が関西を担当した。

東京の多くの劇場の経営権を握り、

大正3年（1914）に歌舞伎座の社長に就任。大正9年（1920）松竹キネマ合名会社を設立し、映画界に進出

昭和12年（1937）、松竹社長に就任（白井松次郎は会長）

昭和30年（1955）、文化勲章を受章

昭和42年（1967）、勲一等瑞宝章を受章

昭和44年（1969）、東京都三田の自宅で逝去。享年92才



昭和30年
文化勲章受章者

大谷竹次郎翁